

主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部(上下水道局)
	19021	流域下水道整備費負担金事業	室名	下水道室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	会計	14:公共下水道事業会計
	基本施策	07:上下水道の整備	款	資1:資本的支出
	施策の方向	02:生活排水対策の推進	項	01:建設改良費
戦略プロジェクト	-	目	02:流域下水道建設負担金	
事業予定期間	S 62 ~ H 46 年度 主な根拠法令要綱等 下水道法、都市計画法			

② 目的・概要	対象	下水道処理区域内の市民
	目的	公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全を図るため、亀山市、四日市市、鈴鹿市の3市を処理区域とする、県が整備、管理する終末処理場(南部浄化センター 四日市市楠町)の整備拡大を図る。
概要	県が整備、管理する終末処理場(南部浄化センター)の整備拡大を図る。	

		平成27年度	平成28年度	
③ 年度別事業計画	負担金	処理場増設(内陸部) 一式 護岸工事(海上部) 一式	処理場増設(内陸部) 一式 護岸工事(海上部)、埋立工事 一式	
	計画額	事業費	71,000千円	101,100千円
		国庫支出金		
		県支出金		
		地方債	68,900千円	98,000千円
		その他		
	予算額	一般財源	2,100千円	3,100千円
		事業費	71,000千円	97,810千円
		国庫支出金		
		県支出金		
地方債		68,900千円	96,600千円	
その他				
一般財源	2,100千円	1,210千円		
期間内総事業費(H27・H28)①		172,100千円	期間外事業費(H29以降)② 326,200千円 総事業費 (①+②) 498,300千円	

				平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)		
④ 指標	①	名称	南部浄化センター第2期建設事業 整備概要	活動	計画値	海上部護岸工	海上部護岸工完了・埋立工事着工	埋立工事
		補足		単位				
	②	名称	亀山市の日総汚水量	成果	計画値	8,300	8,500	8,700
		補足	供用開始区域内で下水道に接続した使用者から排出される一日の平均汚水量	単位		m ³	m ³	m ³
	③	名称		計画値				
		補足		単位				
	④	名称		計画値				
		補足		単位				

事務事業評価シート

H27(主要事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部(上下水道局)
	19021	流域下水道整備費負担金事業	室名	下水道室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財 会計	14:公共下水道事業会計
	基本施策	07:上下水道の整備	務 款	資1:資本的支出
	施策の方向	02:生活排水対策の推進	科 項	01:建設改良費
戦略プロジェクト	-	目 目	02:流域下水道建設負担金	

② 目的・概要	対象	下水道処理区域内の市民
	目的	公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全を図るため、亀山市、四日市市、鈴鹿市の3市を処理区域とする、県が整備、管理する終末処理場(南部浄化センター 四日市市楠町)の整備拡大を図る。
	概要	県が整備、管理する終末処理場(南部浄化センター)の整備拡大を図る。

		27年度	28年度
①	名称	南部浄化センター第2期建設事業 整備概要	海上部護岸工
	補足		海上部護岸工完了・埋立工事着工
		計画値 実績値 単位	
②	名称	亀山市の日総汚水量	8300
	補足	供用開始区域内で下水道に接続した使用者から排出される一日の平均汚水量	8500
		計画値 実績値 単位	7455 m ³
③	名称		
	補足		
		計画値 実績値 単位	
④	名称		
	補足		
		計画値 実績値 単位	

年度計画				年度実績			
負担金 処理場増設(内陸部) 一式 護岸工事(海上部) 一式				負担金 処理場増設(内陸部) 一式 護岸工事(海上部) 一式			
事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	1,517	平均給与額×③	
国庫支出金		0	78,491	一般職員人件費 ②	1,517		
県支出金		0		所要人員 ③	0.20		
地方債	68,900	68,900	77,400	臨時職員人件費 ④	0		
その他		0		受益者負担額 ⑤			
一般財源	2,100	29,985	1,091	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
再掲	翌年度への繰越額						
	前年度からの繰越額	27,885	27,885				
	総人件費		①	1,517			
	総コスト		⑥	80,008			

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	南部浄化センターの処理能力を拡充するため、平成26年度から第2期建設工事が着手され、平成27年度は50,606千円の負担金を支出した。また、市の事業認可拡大に伴い南部浄化センターの処理能力が維持確保できるよう県と事業調整を図った。	総合判定 B まずまず進んだ
	【反省点・課題】	海上部分の第2期建設事業については、平成26年度に工事着手されたが、10年程度の期間を要するため、毎年度多くの負担金が必要となる。	
	【改善の方向性】	四日市市、鈴鹿市、亀山市からなる北勢沿岸流域下水道(南部処理区)事業促進協議会を中心として、三重県との事業調整を図り、事業の早期完了とコスト縮減に向け協議していく。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 下水道室長 松永 政司